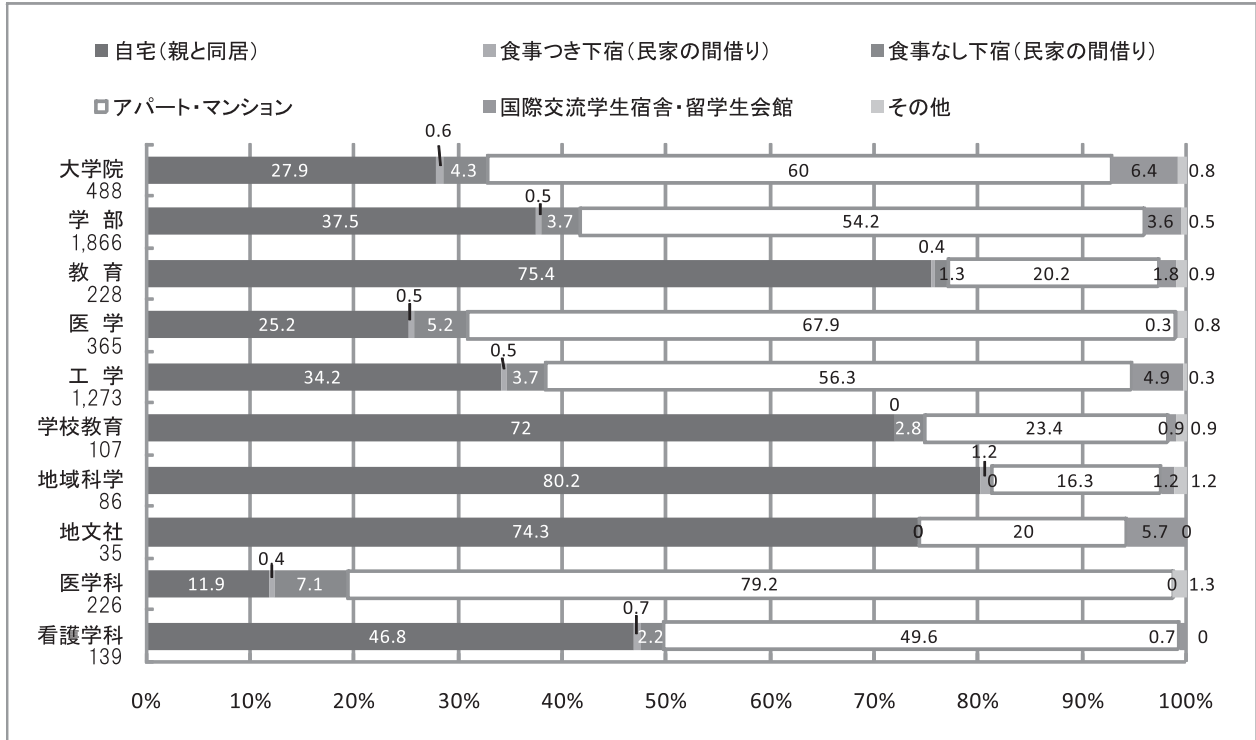
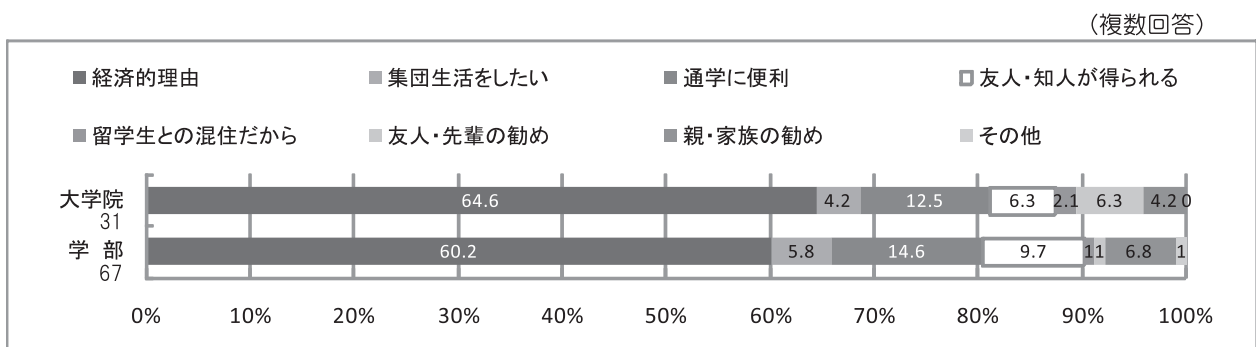


C 住居と通学

C1-1 現在の住居

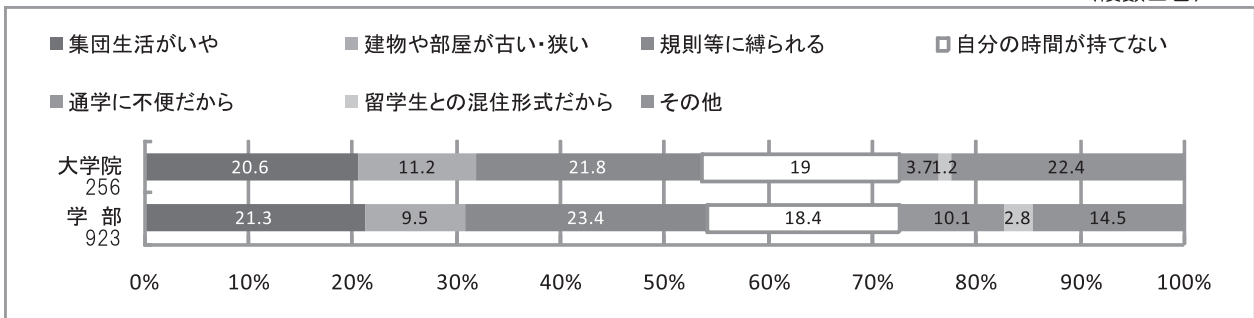


C1-2 国際交流学生宿舎・留学生会館に住む理由



C1-3 国際交流学生宿舎・留学生会館を選ばなかった理由

(複数回答)



□現状

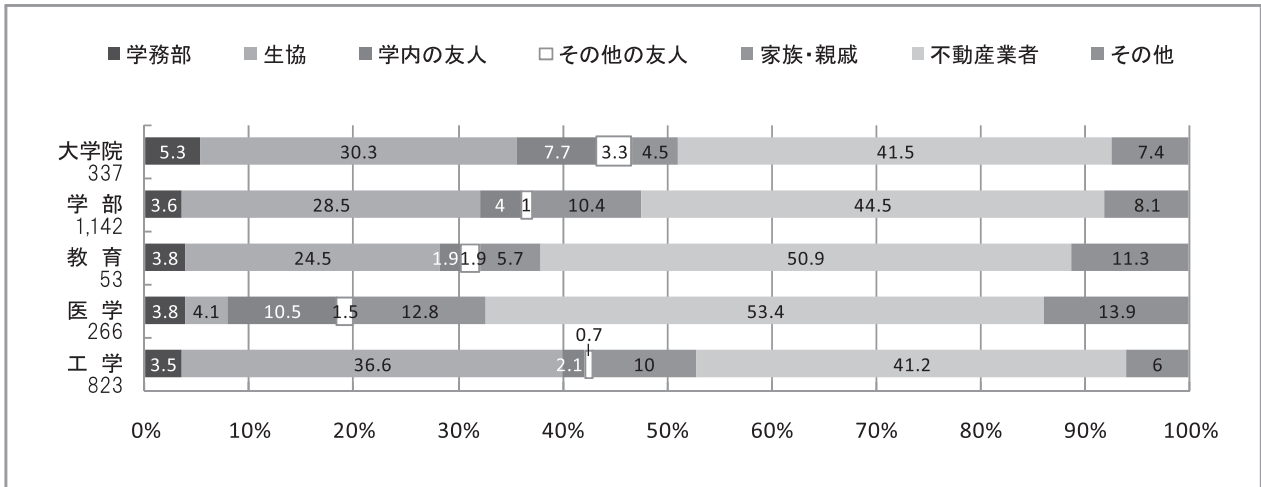
- ①国際交流宿舎を選ばなかった理由として、「知らなかった」という回答が目立つ。他に、飲み会などが強制されることを嫌う、申請したが入れなかった、といった点があげられている。
- ②30室に対して2倍程度の申請がある。

□課題

- ①「国際交流宿舎」の存在、居住条件（留学生に限らないことなど）や申請方法について、より一層の周知徹底を図る。
- ②安心して入れる寮を作るために、自治会組織の改革を検討する。

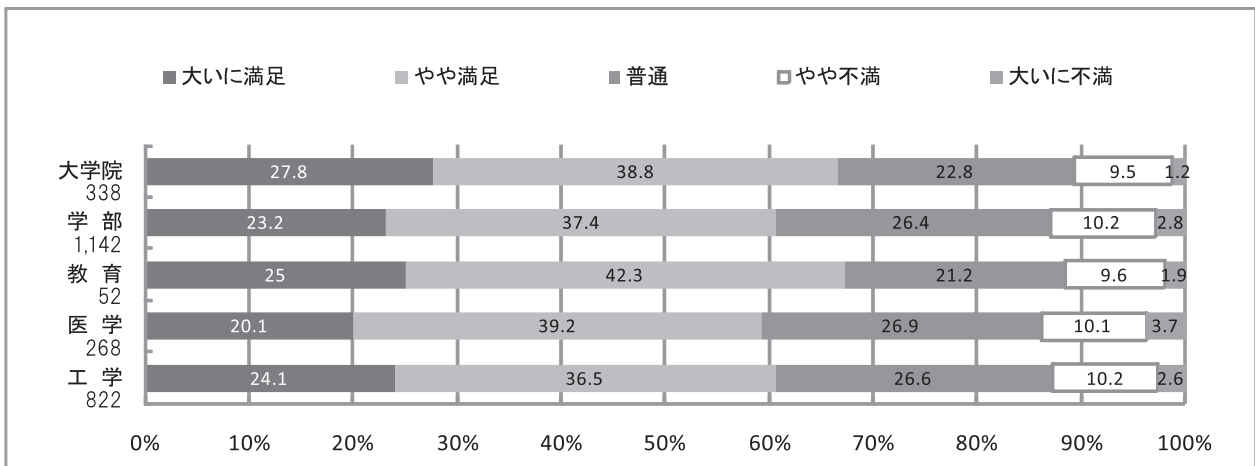
C2-1

【自宅外の人】現住居の紹介者



C2-2

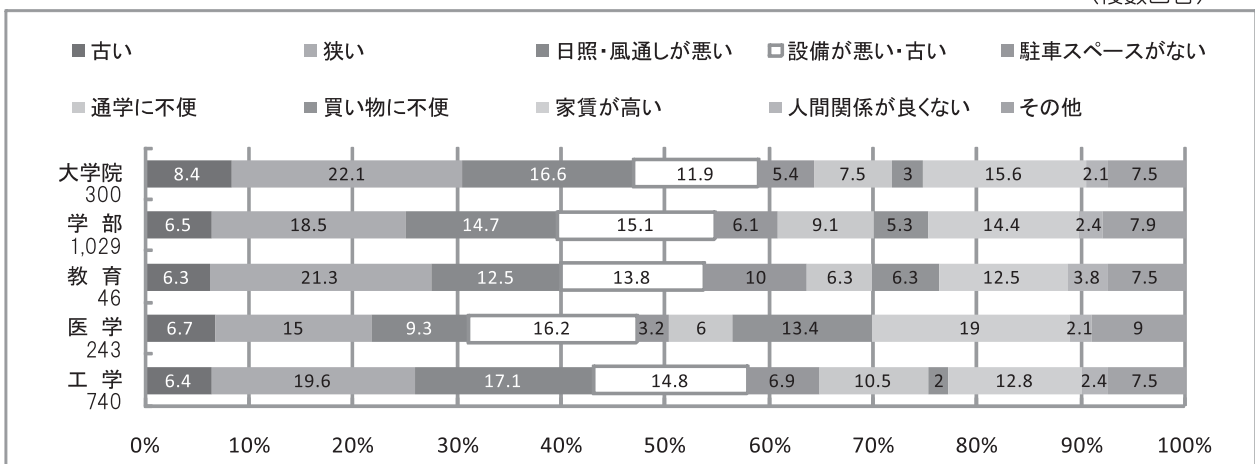
【自宅外の人】現住居の評価



C2-3

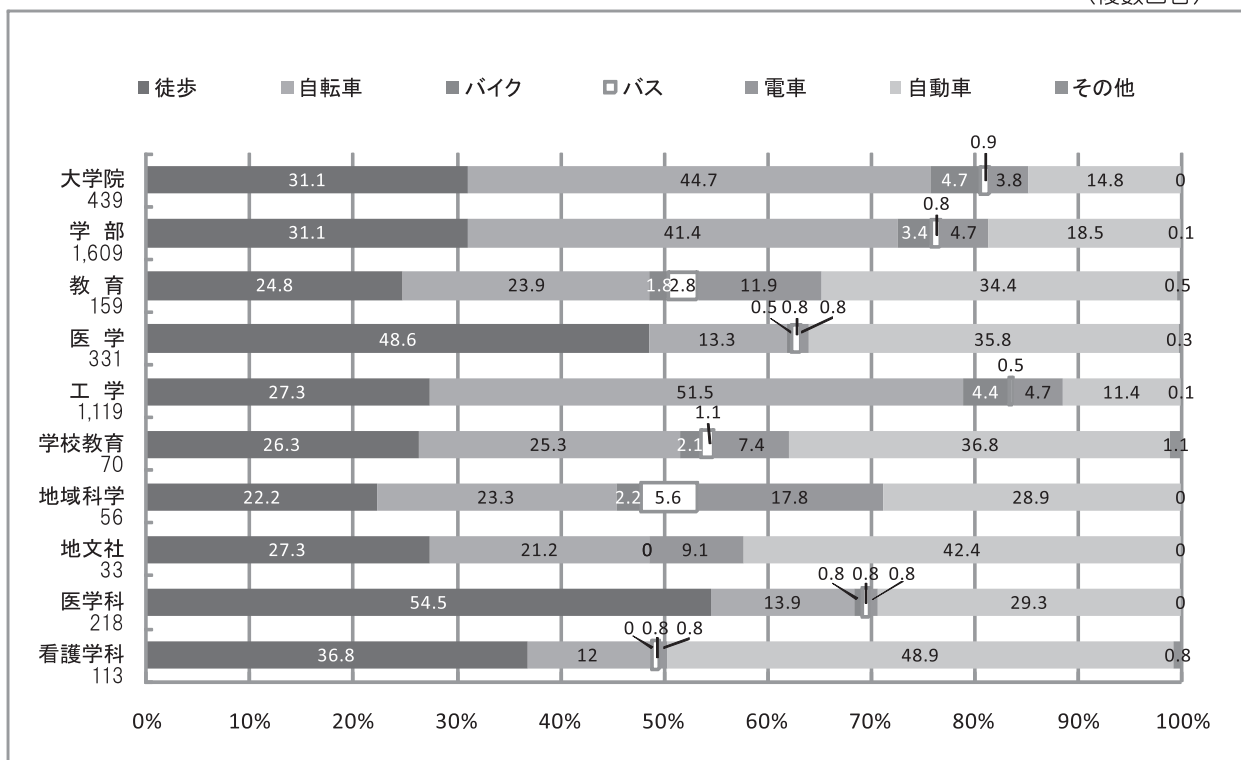
【自宅外の人】現住居の不満

(複数回答)

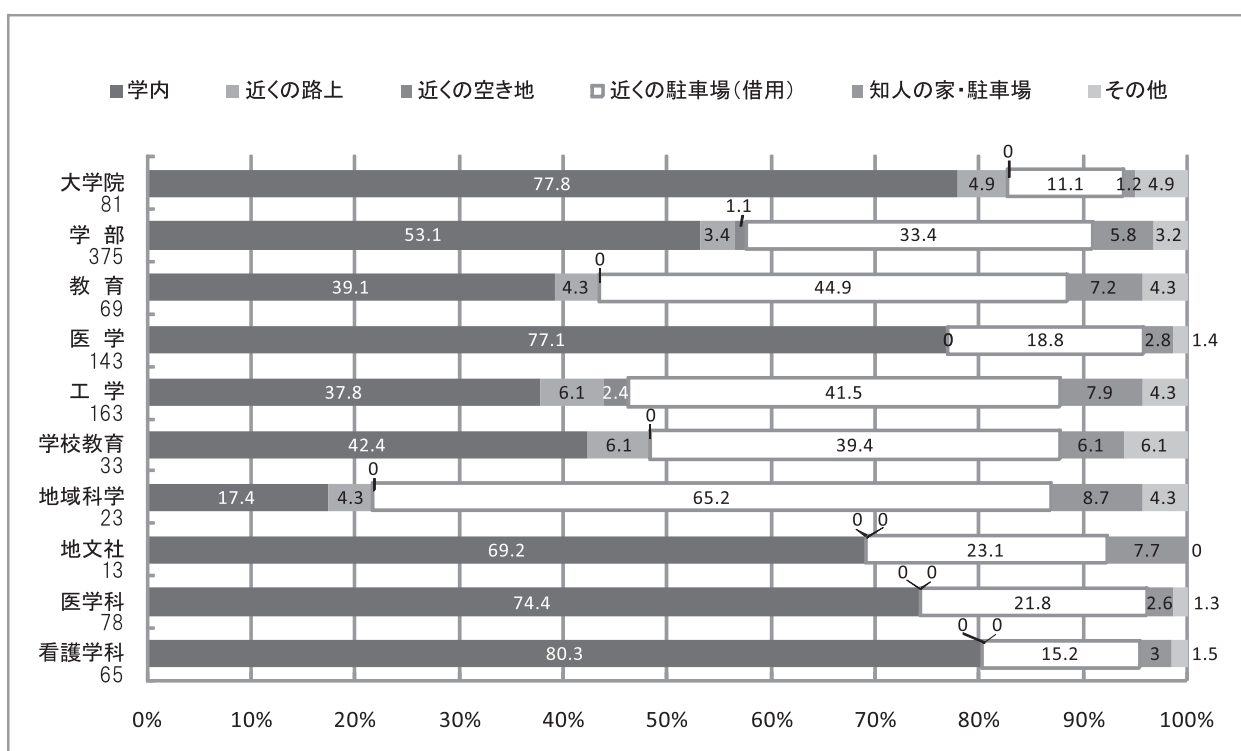


C3-1 通学方法

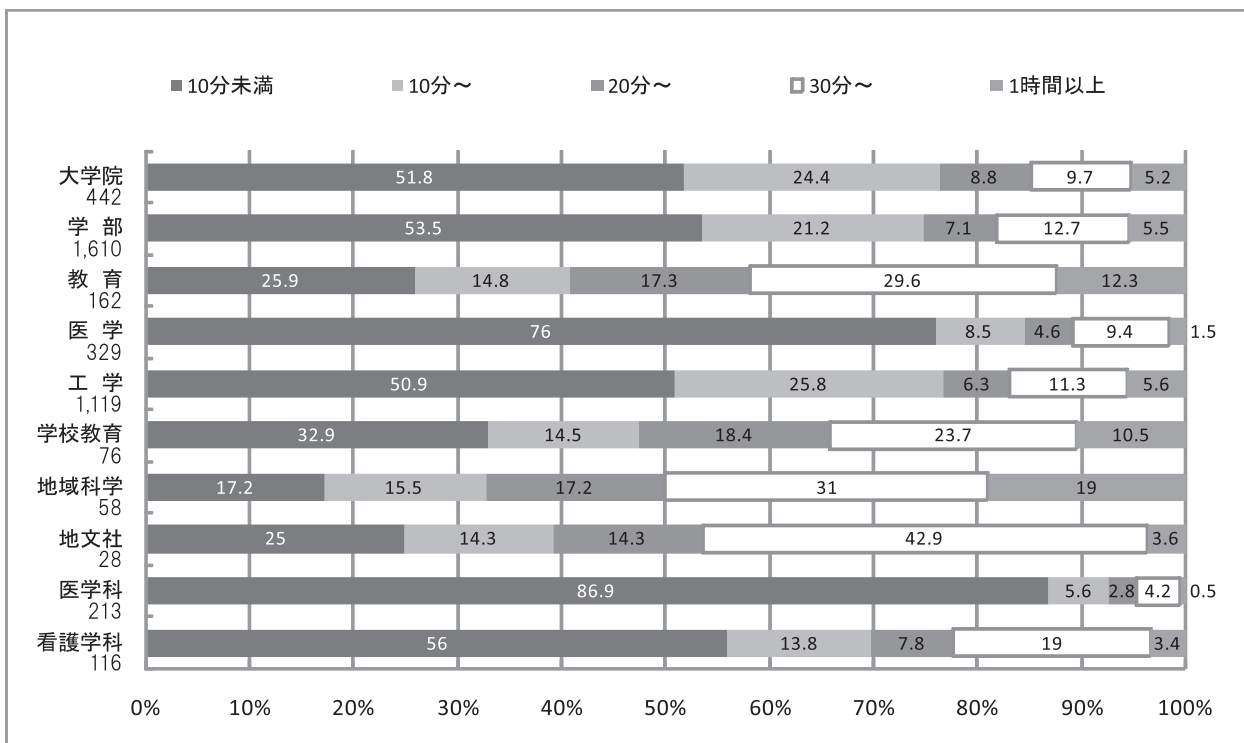
(複数回答)



C3-2 駐車場所

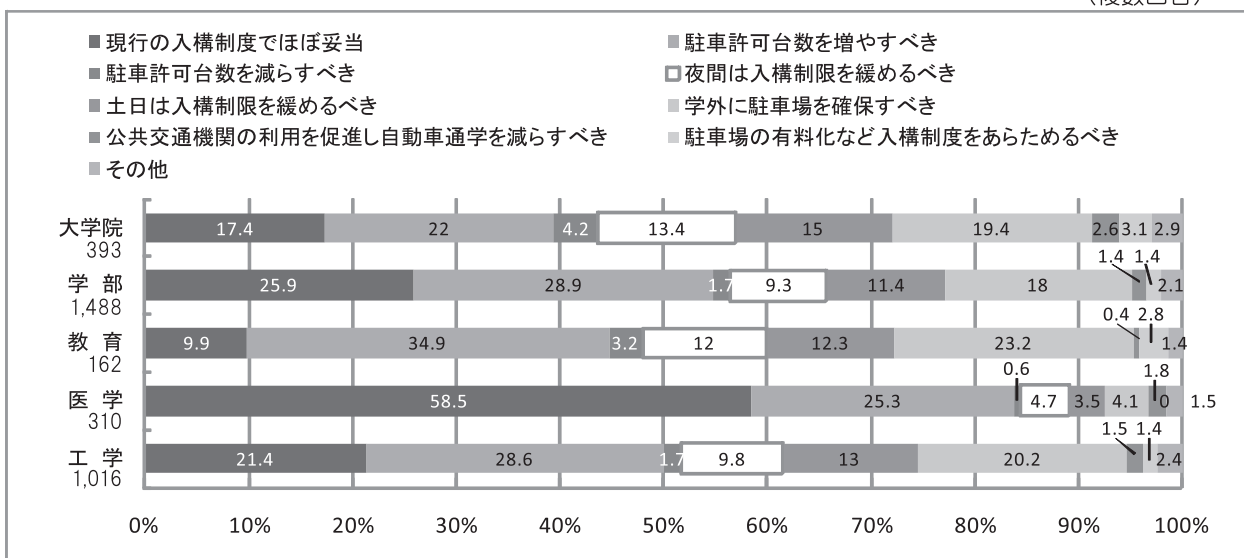


C4 通学所要時間（片道）



C5-1 自動車入構制度の評価

(複数回答)



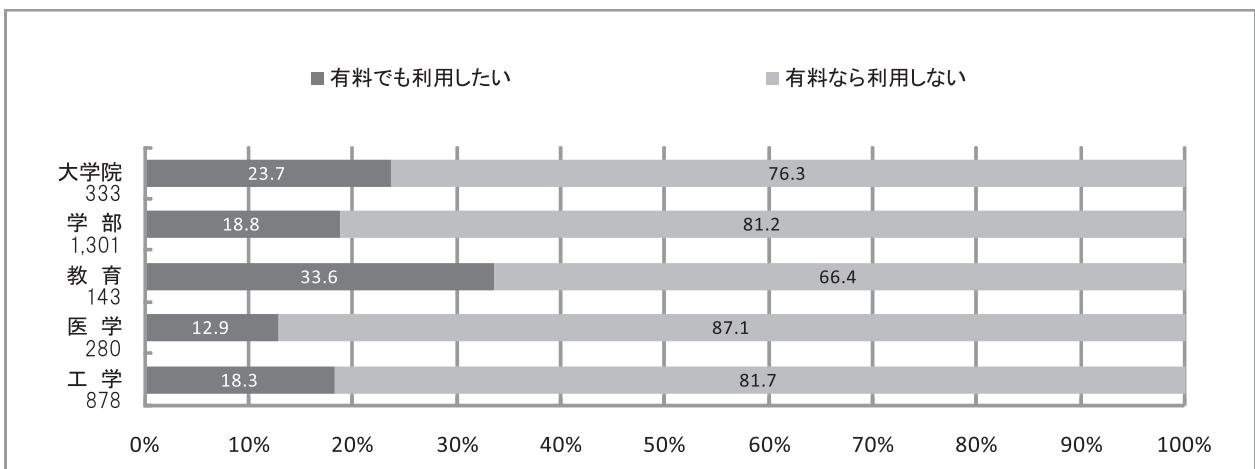
□概要

- ①自動車による通学者は文京で約 20 %、松岡で約 40 %。学内に駐車しているものは、文京で約半数、松岡ではほぼ 75 %。
- ②入構制度について、現行の制度で妥当とするものと駐車許可台数を増やすべきとするものの数はほぼ同じ。自由記述では「知らない」という回答も複数ある。また、夜間や土日には入構制度を緩和してほしいという回答も相当ある。

□課題

- ①福井県の公共交通の貧弱さや冬期の積雪を考慮すれば、自動車通学を禁止あるいは今よりも厳しくする事は非現実的である。学外駐車場の確保等、駐車スペースを広げる工夫を検討する。
- ②文京において最も多い通学方法は自転車である（50数パーセント）。自動車による通学者を少しでも減らし、学内駐車スペースが逼迫している現状を緩和するために、駐輪場の整備を検討する。
- ③公共交通機関やパーク＆ライド利用での通学・通勤を促進することなどで、入構車数を減らすことも検討が必要である。

C5-2 構内駐車場の有料化について



□概要

- ①現状は両キャンパスとも駐車は無料。有料でも利用したいと回答したものが、文京では約 20%、医学部では 13%。

□課題

- ①有料化する場合、教職員も有料とするのか（その場合、非常な困難が予測される）、そもそも有料化によって自動車通学が減少するのか（有料になっても通学しなければいけない事情は変わらない）、検討が必要である。
- ②有料化とした場合、料金は、立体駐車場の整備、近隣駐車場の借上げなど、駐車可能台数の拡大や維持費などに充てる。